

■ 2023年度活動計画（期首目標）

① 快適かつ魅力的な公共空間実現のためのモデル構築

- ・ 工事中の賑わい創出、案内誘導サイン整備と道路還元の仕組み構築の組み合わせによる快適な歩行者空間の実現を目指す
- ・ 持続的なクリエイター挑戦のプラットフォームを構築しながら、公共空間の賑わい創出を継続的に実施
- ・ 国道246号沿道環境改善に繋がる仕組み検討

② まちの動きに応じたイベント・PRの実施とモデル構築

- ・ 渋谷駅前エリアマネジメント協議会設立10周年、まちびらきⅢ期等、まちの動きと連携したイベントを実施
- ・ HPやリリースによるタイムリーかつ効果的な情報発信及び他団体との連携によるPR等の実施

③ スマートシティ・防災防犯・環境施策に関わる計画・実行

- ・ 防犯連携協定をベースとした関係者連携の深度化（街区合同での防犯訓練の実施・情報連携の強化）

快適かつ魅力的な公共空間の実現のための具体的施策



落書き防止、工事中の賑わい創出に繋がるアート施策を継続して展開



まちの動きに合わせたサイン整備体制の構築



国道246号沿道も含めた賑わい創出の検討

■ 活動実績

① 快適かつ魅力的な公共空間実現のためのモデル構築

<道路協力団体の指定（2024年2月）>

東京国道事務所管轄内初となる道路協力団体に指定。国道246号の清掃・美観を行うための仕組み構築により、2024年度より下記項目の実施予定。

- 国道上（デッキ・地下歩道・沿道）での賑わい創出・広告事業
- 歩道のゴミ拾い等の清掃、歩道橋の排水溝清掃
- 歩道の落書き防止等を目的とした美観

<工事中の媒体を活用した広告掲出>

旧東急百貨店東横店解体工事足場、憲章ボード、東口など一体的な広告を展開。
工事中の仮囲いも活用し多様な賑わい創出施策を実施

<公共空間を活用した公募型アート展開>

工事中の仮囲いや道路上施設等を活用し、アート展開による持続的なまちの賑わい創出及び歩行者空間の美装化を実施。



② まちの動きに応じたイベント・PRの実施とモデル構築

<渋谷駅前エリアマネジメント協議会10周年イベント>

■ 実施日：2023年5月30日
「渋谷らしいまちづくり?～」と題して、まちづくりに係る方々と語るトークセッションを通じて、これまでの取り組みを振り返りと、渋谷の未来の可能性を感じる機会となり、渋谷再開発への期待などを改めて確認できる場となった。



<HPによる対談記事の発信>

まちイベントに合わせての情報発信、エリマネ団体としての官民連携の取組の発信を、他団体との対談形式で実施。

- 渋谷駅前エリアマネジメント10周年を迎えて
- 公共空間活用・都市利便増進協定について（w/ 一財）国土技術研究センター様）
- ハチ公生誕100周年について（w/ 一財）渋谷区観光協会様）



③ スマートシティ・防災防犯・環境施策に関わる計画・実行

<浸水対策訓練の実施>

■ 実施日：2023年7月27日(木)
東京都主催浸水対策訓練へエリマネとして協力。都内在住の親子40名が参加したイベントを通じ、防災に対する意識づけにつなげると共に、渋谷の今とこれからの開発による変化について、情報発信できる機会となった。
次年度は、近隣施設と連携して継続的に実施予定。



<エリアセキュリティーの取り組み（合同防犯訓練の実施）>

■ 実施日：2023年9月27日（水） 渋谷駅東口歩道橋上
警察、周辺施設など多様な関係者が参加し、テロ発生を想定した公共空間における防犯連携の実践的な訓練を初開催。今後は、鉄道各社や消防との体制を強化し、継続して訓練を実施し実効性向上を図る予定。



1. 渋谷駅前エリアマネジメント 2023年度活動報告

■活動実績

④まちびらきⅢ期

<イルミネーション合同点灯式>

実施日：12月1日(土)

会場：ハチ公広場/にぎわいSTEAGE

・俳優の武田玲奈さんをゲストに迎え、「渋谷駅ハチ公広場」と「渋谷サクラステージ・にぎわいSTAGE」にて合同点灯式を実施。



<渡り初め式>

実施日：12月1日(土)

会場：渋谷ストリーム/渋谷サクラステア/渋谷駅南口北側自由通路

渋谷ストリームと渋谷サクラステージを繋ぐ「(仮称)渋谷駅南口北側自由通路」が暫定供用開始したことを記念した渡り初め式を実施。

渋谷区長、区議会議員、両施設支配人、地元関係者が出席。

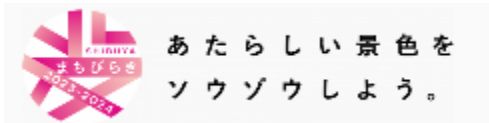


<トークステージ&パネル展>

日時：12月14日(木)

会場：渋谷駅東口地下広場

渋谷のこれまでとこれから、魅力や可能性等のトークショーやパネル展を実施。



⑤広場の利用 ～東口地下広場でさまざまなイベントを実施～

<なんみんフェス2023 in 渋谷>

■実施日：2023年6月17日(土)

・全国の若者や活動団体が集まり、難民をテーマにスタンブリー・展示・ワークショップなどを実施



<渋谷ズンチャカ！>

■実施日：2023年7月9日(日)

地元連動イベントの一環とした市民参加型の音楽フェスティバル

・展開エリアのひとつとして、会場協力。

・アコースティック演奏で地下広場の賑やかさを実施し、多くの方が音楽に触れる機会となった



⑦観光

<ハチ公生誕100年イベントとの連携>

SHIBU HACHI BOXにて、ハチ公の歴史やHACHI100グッズを展示。

インバウンド客が増え、お土産販売にもつながった。



<「渋谷さくら祭」「渋谷桜丘 桜まつり」メディアプロモート&桜マップ作成>

渋谷には、河津桜・ソメイヨシノ・宇宙桜など渋谷には多種の桜があり、2～4月の間、長く桜を楽しめる。

また、代々木公園・明治通り・ハチ公広場・桜丘・金王八幡宮などにも多くの桜の名所があり、メディアプロモートを実施し、来街を促進。

「渋谷さくら祭」

日時：2月16日(金)-2月25日(日)

会場：渋谷リバーストリート



「渋谷桜丘 桜まつり」

日時：3月10日(日)-4月10日(水)

会場：渋谷インフォスター前広場等



■渋谷さくら祭

<その他>

施設さくら色ライトアップ

商業施設の外壁照明や屋外メディアをさくら色で染める



■桜マップ作成 & HP更新

⑥情報発信

<大学連携>

東京都立大学菊竹雪教授とゼミ生とともに渋谷らしい景観形成を目的とした映像作品を、渋谷スクランブルスクエア東棟外壁ビジョンで放映。



<シブヤ大学連携「しぶやをつくるゼミ」第3期>

NPO 法人シブヤ大学と連携し、渋谷のまちについて、じっくり、たのしく考え、実践してみる場とした市民参加型のまちづくり活動。今年のテーマは、「空間や街並み、景観について考える」受講者は17名で全7回開催。今回はフィールドワークを取り入れて活発な議論が展開されている。



1.渋谷駅前サイン～（1）検討経緯と目的～

渋谷駅の大規模再開発計画の完成に向けて、2017年に「渋谷駅前サインガイドライン策定委員会」、2019年に「渋谷駅前サインガイドライン運営委員会」を設置。

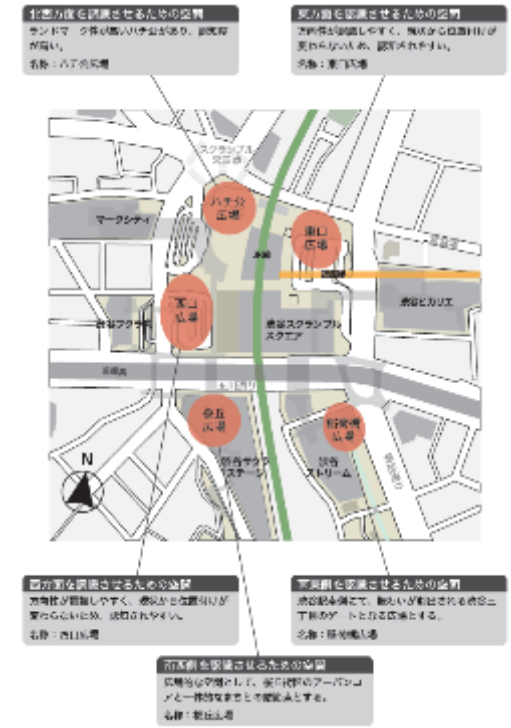
渋谷駅および周辺施設を対象範囲とし、世界に開かれた生活文化の発信拠点・渋谷にふさわしく、初めて訪れる人にも分かりやすい案内誘導の実現に向けて、「渋谷駅前サインガイドライン」に基づき、様々な取組を実施。

渋谷駅前では渋谷の再開発に携わる行政、事業者の関連指針等の整合・連携を図り、仮設動線、仮設広場も含めた、来街者や利用者の安全性・利便性・わかりやすさを確保し、工事期間中から誰もが分かりやすいターミナルの実現を目指す。

1.渋谷駅前サイン～（2）案内誘導の考え方～

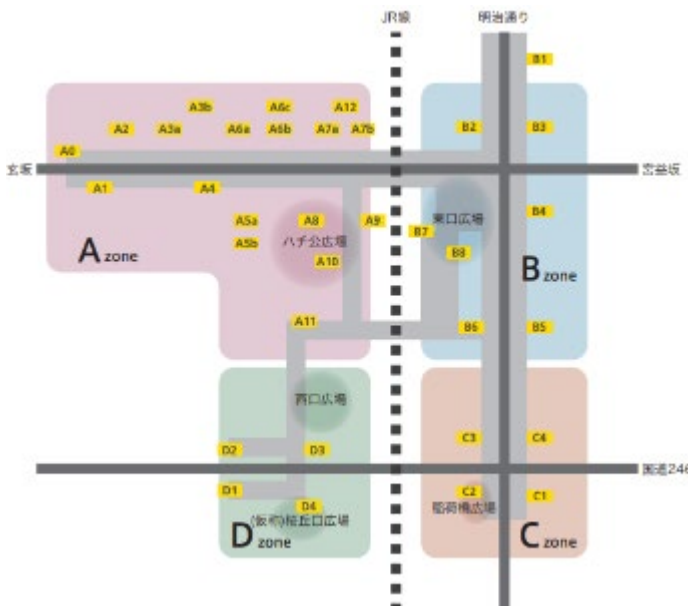
■ 地上結節広場

地上：ターミナル内の構造や街の方向性を把握させるため、「結節広場」を位置付け、移動経路や情報を集約。



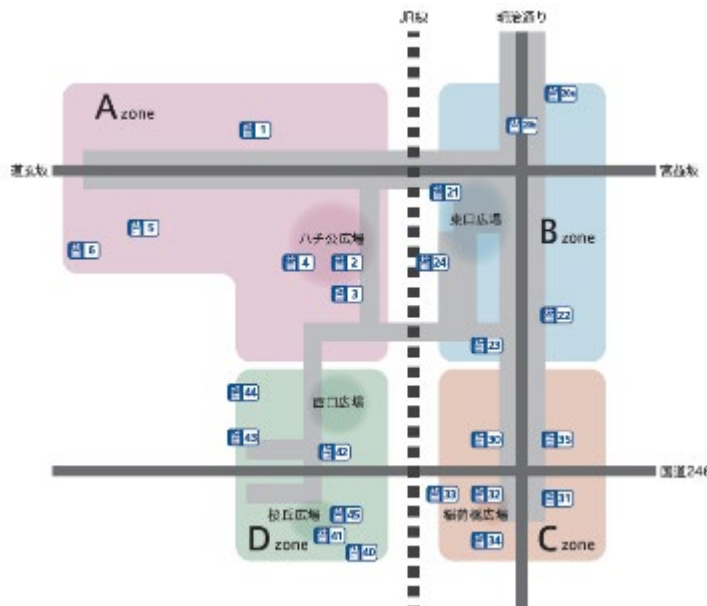
■ 地下出入口番号の振り直し

地下：ゾーンの分け方は、地上出入口のまとまりとして認識しやすく、地下空間の構成と整合することを踏まえ、東西方向はJR線を境、南北方向は渋谷ヒカリエと国道246号の間を境として、4つに大きく分類する。



■ エレベーター名称の設定

バリアフリー設備（EV）の案内を充実。
地上出入口のゾーニングごとにエレベーターのグループを作り、各ゾーン毎に数字の範囲を設定する。
（Aゾーン：1～19、Bゾーン：20～29、Cゾーン：30～39、Dゾーン：40～49）



1. 渋谷駅前サイン～（3）主な取り組み内容～

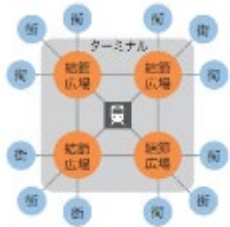
■サイン表記ルールの一

地上での誘導表記、地下での誘導表記のレイアウトルールを決め、駅名、路線名、ピクトグラム、出口、広場など統一。



■結節広場の設置・シンボルマークの制作

地上においてターミナル内の構造や街の方向性を把握させるため、駅と街との接点となる空間を「結節広場」と位置づけ、移動経路や情報を集約化した案内誘導を実施。また結節広場のシンボルマークを制作し、サインに明記することによって街の方向を分かりやすく表現。



■バリアフリー対応

エレベーター利用者に対し、現在位置、行きたい方面の次のエレベーターの場所が分かりやすいように各エレベーター脇に誘導サイン・地図を設置



■多言語表記の対応

日本語、英語の二ヶ国語表記を原則とし、表示の視認性や判読性を考慮してその他言語を表記することを推奨。



■周辺案内・ターミナル案内の掲出

周辺案内は、行動拠点となる渋谷駅からおよそ2km四方を対象範囲として掲出。ターミナル案内は、平面案内図と駅特有の階層構造を理解できる断面図とで構成。



【周辺案内】



【ターミナル案内】

■サインの色彩の改善

情報内容の識別性を高めるため、情報ごとに色彩を分け、都市の景観構成物としても統一感のあるデザインとなるよう改善。



2. 渋谷駅前サインの今後の検討課題

- ・ 今後の渋谷駅前サインの取組については、① 利用者へのわかりやすさの更なる追求、② 計画中のエリア外にある公共的施設へのサイン対応、③ ①②の課題対応方針の作成が必要。

⇒令和6年度より渋谷駅周辺のまちづくりに精通する体制を組み立て、課題対応に踏み込みたい。

①利用者へのわかりやすさの更なる追求〔主な検討課題〕

○現在位置（住所）の把握

広場、EV等を含めて、地下出入口のゾーニング〔A～D〕のように、利用者が自分の位置を「住所」として、より認識しやすいような案内サインへの対応が必要。

○工事中のサイン整備

工事中のサインの方法については、CM会議の検討と連携し、サイン掲出の働きかけやより分かりやすいサイン検討に協力する。また、サインの全体構想との整合を図るよう連携する。

○駅周辺施設への案内誘導のデジタル対応

デジタルサイネージ等を用いて、駅改札から目的地までの分かりやすい動線をナビゲーションする仕組みの検討が必要。災害時には一時退避場所への誘導にも有効。

○バスターミナルにおけるサイン整備

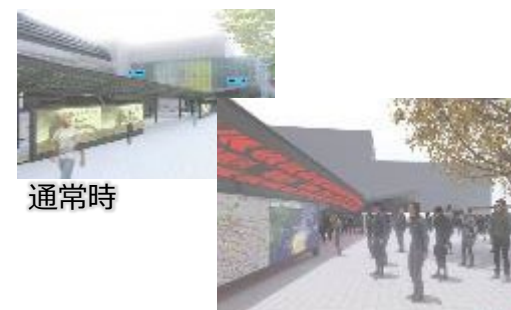
広場の整備完了後に向けた、渋谷駅における総合的なバス案内の整備・更新の方針作成の必要。

○災害時を想定したサインの対応

避難所や帰宅困難者受け入れ施設などの情報付加、照明が消えた場合を想定した配置等の必要。



渋谷区帰宅困難者受入施設マップ



通常時

バス停整備後の避難誘導イメージ

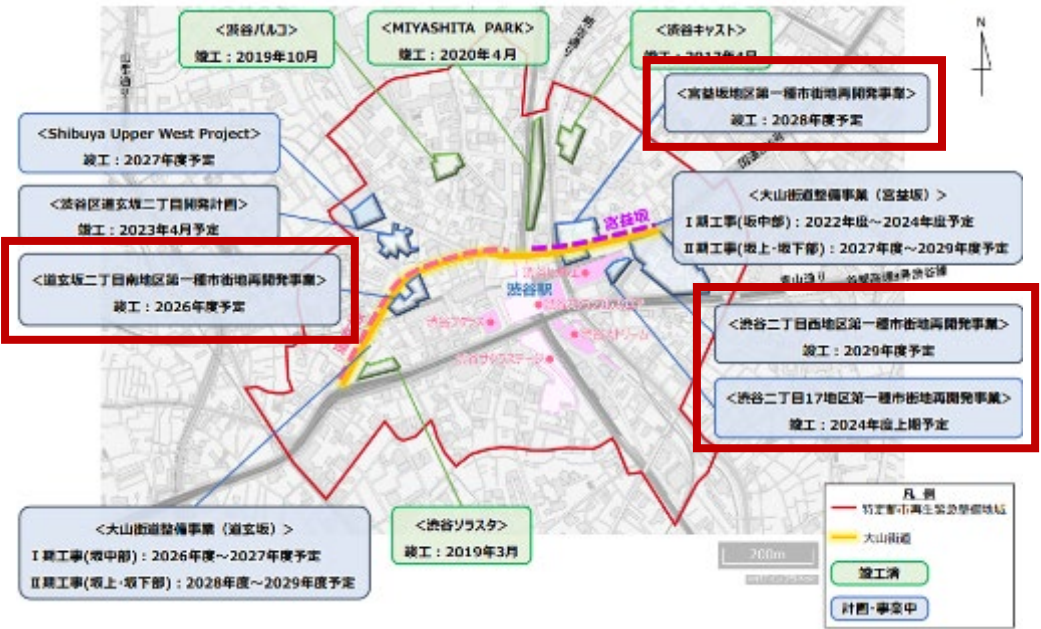
提供：株式会社イー・エー・ユー

②エリア外にある公共的施設へのサイン対応

■ 歩行者ネットワークサインルールの作成（令和6年度実施）

将来整備されるバスタや動線となる施設がエリア外にあるが、
現行ルールでは、対象とされていない

⇒エリア外の巻き込み範囲等、提供に関するルールを設定



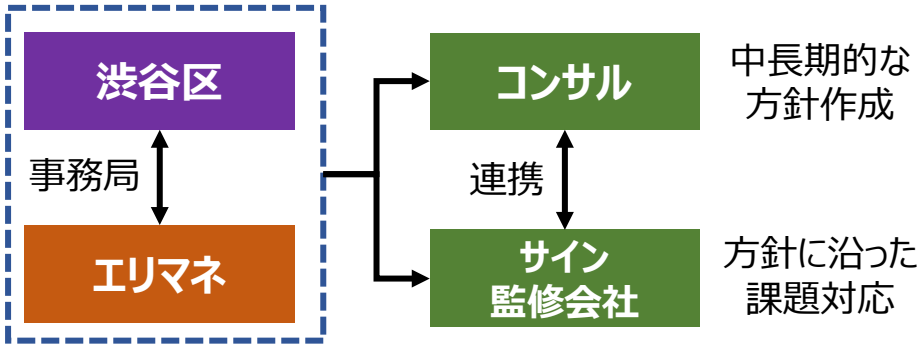
■ 将来バスタ整備時のサインのあり方検討（今後実施）

駅⇄バスタ、バスタ同士のサインのあり方をバスタ協議会と連携
その他のエリア外の施設の案内誘導のルール化を進める

③課題への対応方針の作成

■ 課題対応のための検討体制見直し（令和5年度実施）

- ・ 現行関係者に加えまちづくりの知見をもつコンサルを入れた体制の構築
- ・ 駅前サインの持続的な運用を図る観点から、運営委員会実施事項に「周辺開発動向も加味した課題及び方針検討」を追加



■ 長期的な課題・対応方針整理（令和6年度実施）

五街区外も含めたまちづくりの状況を加味し、各関係者が必要な時期に予算確保できるような対応方針を作成

■令和5年度の情報発信の取り組みについて

- これまで渋谷駅前エリアマネジメントを中心に、渋谷において様々な形で創出・広告展開等の施策を行ってきましたが、まちづくりや都市基盤の整備工事に着目した情報展開についても積極的に行うべく、令和5年度はトークショーやパネル展示を通じて渋谷のまちの将来像を発信する取り組みを試みました。



▲トークショー
YouTube配信記録
【YouTube】



▲パネル展
パネルデータ
【区ポータルサイト】

■トークショー 「シブヤ100年ミライのまちづくり」

100年の計と銘打った再開発が行われ、日々変化している渋谷のまちについて、渋谷のまちづくりに様々な立場で関わられてきた方々にご登壇いただくトークイベント「シブヤ100年ミライのまちづくり」を開催しました。

トークイベントは二部構成となっており、一部では都市の基盤整備についての歴史の振り返りと将来像について、二部ではアートやカルチャー、エンターテインメントといったソフト面から、渋谷の魅力について語り合いました。

・第1部：SHIBUYA IDENTITY 渋谷の発展を支える基盤整備

関東大震災から100年の年であり、ハチ公生誕100年の年でもある2023年。100年の計と銘打った大規模な再開発が進んでいる渋谷駅周辺のまちづくりについて、これまで様々なお立場で関わられた皆さまにご登壇いただきお話を伺いました。

・第2部：SHIBUYA IDENTITY 変わりゆく渋谷の魅力

街づくりは都市基盤となるハードな整備に加えて、街の賑わいや地域の活性化をもたらすソフトな演出も重要となっており、渋谷の街の賑わいづくりについて様々なお立場で関わりのある皆様にお話を伺いました。



■ DATA

日時：令和5年12月14日 渋谷駅東口地下広場
主催：国土交通省東京国道事務所
渋谷区
渋谷駅中心地区工事・工程協議会
協力：（一社）渋谷駅前エリアマネジメント

登壇者：渋谷区 長谷部区長
政策研究大学院大学 森地教授
（一社）渋谷駅前エリアマネジメント 坂井代表理事
国土交通省東京国道事務所 石井所長
渋谷道玄坂商店街振興組合 大西理事
東急（株） 寄本課長
國學院大学経済学部田原ゼミナール 鵜飼氏 池田氏
司会：フリーアナウンサー 原田氏

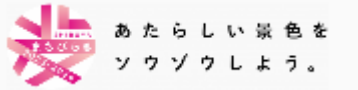
■パネル展 「ハチ公がみてきた渋谷」

渋谷区観光協会のキャラクター「HACHI」を案内役に、渋谷のまちの変遷やアーバンコア・スカイウェイなどの歩行者ネットワーク、渋谷サクラステージの開業で生まれ変わった南側のまちなどをわかりやすく紹介しました。

■ DATA

日時：令和5年12月11日～令和5年12月31日 渋谷駅東口地下広場
掲載枚数：B0版 9枚
製作：渋谷区
協力：（一社）渋谷駅前エリアマネジメント





取り組み内容について

開業・周年

● 渋谷サクラステージ
竣工(開業) 11月30日(木)

供用開始

● 南口自由通路暫定供用開始 12月1日(金)

まちイベント

● イルミネーション点灯 12月1日(金)

● 渋谷さくら祭2月16日(金)-25(日)

● 桜丘桜まつり3月10日(水)-4月10日(土)

● 渋谷アクシユ開業(7月上旬)

● 渋谷サクラステージ全面開業 7月26日(金)

● 渋谷ストリーム周年 9月13日(金)

● JR新南口改札供用開始(秋頃予定 ※前倒し調整中)

● 西口国道地下歩道供用開始(夏予定)
※地下～地上～デッキの歩行者動線一部変更

● 盆踊り(8月上旬)

● 例大祭(9月14日-15日予定)

